

一宮市学校給食調理場整備基本構想

平成 29 年 3 月

一宮市

はじめに

一宮市では、昭和 43 年度に第一学校給食共同調理場が建設され、中学校への完全給食の提供を開始しました。さらに、昭和 48 年度に第二学校給食共同調理場が整備されたことにより、市内すべての小中学校に対し完全給食を提供できるようになりました。その後、児童生徒数の増加に対応するため、昭和 51 年度に第三学校給食共同調理場が整備されました。平成 13 年度には、施設の老朽化及び行政改革の一環で第一学校給食共同調理場が閉鎖され、市内の学校給食共同調理場は 2 つとなりました。

その後、平成 17 年度に 2 市 1 町（旧一宮市、旧尾西市、旧木曾川町）が合併したことにより、本市では旧一宮地区（共同調理場方式）と旧尾西・木曾川地区（単独調理場方式）で調理方式の違いが生じ、現在に至るまで両方式を併用した給食提供が続けられています。

昨今では、0-157 問題や産地偽装等、衛生管理上の問題に加え、食物アレルギー反応による重大事故の発生を契機として、食の安全・安心に対する社会的な要請が非常に高まっています。また、食育基本法の制定等により、全国的に食育や地産地消を推進することが強く求められるようになり、児童生徒の食生活と密接に関わる学校給食への期待はとて大々くなっている状況です。

このように、学校給食が果たすべき役割の重要性は日に日に増している一方、それを支える本市の学校給食調理場は共同調理場及び単独調理場ともに老朽化が進み、早急に抜本的な対策を講じる必要性が大きくなっています。そこで、本市の学校給食の提供方法及び施設整備運営内容について、今後の基本的な方針を整理するために、「一宮市学校給食調理場整備基本構想」を策定しました。

一宮市における学校給食調理場の変遷

年度	経緯
昭和 43 年度	第一学校給食共同調理場開設 ※中学校への完全給食の提供開始
昭和 48 年度	第二学校給食共同調理場開設 ※全小中学校への完全給食の提供開始
昭和 51 年度	第三学校給食共同調理場開設
平成 13 年度	第一学校給食共同調理場閉鎖 第二、第三学校給食共同調理場の名称変更 ※第二⇒南部、第三⇒北部
平成 17 年度	2 市 1 町の合併 ※共同調理場方式及び単独調理場方式の併用化
…	現在に至る

* 旧一宮地区、旧尾西・木曾川地区の表記は、合併前の各市町の区域を指します。